

SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）

〔 ロボット開発支援フィールド（仮称）整備基本設計業務
 ロボット開発イノベーションセンター（仮称）整備事業基本設計業務 〕

○アドバイス主旨

自然豊かな環境を生かし、魅力的な美しい開発とする



1 施設全体に関するアドバイス

(1) 実施設計においてランドスケープデザイナーの活用を検討する

自然豊かな環境に整備される先進的な施設であることから、**イノベーションや多様性を感じられるよう、景観に力を入れた魅力的な空間として欲しい。**公道からのメインエントランスの演出、実証フィールドに樹木を効果的に入れる工夫、調整池の形状や駐車場との関係性等、個々のパーツだけでなく施設全体の景観をバランスよく検討するのが望ましい。実施設計では、そういったことを専門とするランドスケープデザイナーの活用を検討して欲しい。

(2) 周辺の自然景観に溶け込むような、ナチュラルな色・素材を基本とする

自然が豊かな場所という特徴を生かすため、可能な範囲で木材等の自然素材を活用し、自然に溶け込むようなナチュラルな色を使うことを基本とする。**併せて、周辺の公園や雑木林などとの連続性に配慮する。**

2 ロボット開発支援フィールド（仮称）に関するアドバイス

- (1) フェンスはなるべく作らず、作る際は目立たせない工夫をする
 自然が豊かな場所に、フェンスのような連続する人工物があるとそれが景観のイメージを決めてしまうため、木や植栽の配置でフェンスを目立たせないようにする。また、色彩は周囲から浮かないように、景観色であるダークブラウン(10YR2/1)、グレーベージュ(10YR6/1)、ダークグレー(10YR3/0.5)のいずれかを使用する。
- (2) 調整池の形状は自然な形になるようにする
 柔らかな曲線を用い、自然な地形を目指す。
- (3) ドローン飛行場のネットの色彩はブラウン系のものとする
 ネットの色は鮮やかな緑を避け、低彩度色で検討する。黄味が入った景観色(ダークブラウン(10YR2/1)かグレーベージュ(10YR6/1))に近いものが望ましい。
 また、インパクトの大きいものであるため、サンプルを公共事業景観形成専門部会で確認することとする。

3 ロボット開発イノベーションセンター（仮称）に関するアドバイス

- (1) 周辺の自然景観に溶け込むような、デザイン・素材・色を基本とする
 施設全体のイメージにつながるデザインコンセプトを造形も絡めて決めると良い。
 ナチュラルな色の使用を基本とし、木材やコンクリート等の自然素材の活用を含め、有機的で地域に馴染むものにする。
- (2) 調整池側の駐車場の見え方を工夫する
 自動車がずらりと並んだ場合、その無機質さが自然景観の中で目立ってしまうため、駐車場のまわりの植栽に厚みを持たせたり、間に樹木を配置したりするとよい。

